

子どもを支えるネットワークの充実

- ・保護者や地域の大人による見守り
- ・コミュニティ・スクール機能の活用
- ・保護者や地域の大人からの情報
- ・地域の教育力活用

▶大人と子どもたちの4つの約束

- 1 どの子ども全力で応援する → 誰も一人ぼっちにさせない
- 2 いつでもどんな相談も聞く → どんなことも受け止める
- 3 仲間に悲しい思いをさせる子は、みんなで指導する → いじめはみんなで必ず止める
- 4 相談されたらその日のうちに問題解決に向けてみんなで立ち向かう → 必ず教職員全員で問題解決に立ち上がる

いじめ対策監  
全市立学校配置(71名)

主任いじめ対策監  
5名(各ブロック1名)

スクールカウンセラー  
県費:全23中学校区に配置  
市費:6名

スクールロイヤー  
5名(各ブロック1名)

関係機関との連携  
警察、子相、弁護士会、法務局

いじめの未然防止

- ・自己肯定感や仲間意識の醸成
- ☆自分の気持ちを伝え合える仲間関係を築く
- 良さ見つけ
- ※姿・行動の背景にある意識・思い
- 趣味交流
- ※普段気付けない互いの良さや思いから繋がる

いじめに向かわない自分たちになる。  
いじめが起きにくい学校をつくる。

自治的・自浄的な取組

- ・児童会・生徒会活動
- ・有志組織による活動
- ・あったかい言葉かけ運動
- ・いじめ防止の啓発

いじめは、いつ、どこでも、誰にでも起こり得る。  
見ようとしなければ見つからない。

解決への歩み出し

- ・全職員で情報共有・見届け
- ・関係者への継続的支援・指導
- ・確実な引継ぎ(校種・学年)
- ・関係機関との連携

組織的対応、継続的対応

組織対応

- ・学校いじめ防止基本方針の遵守
- ・全職員による組織対応
- ・子どもたちの安全確保
- ・保護者との綿密な連携

共有、即時対応、組織的対応

かけがえのない大切な一人ひとり  
～誰も一人ぼっちにさせない～

生命の尊厳への理解を深める学び

- ・生き方の探究学習
- ・各教科における視点の明確化
- ・外部講師活用講話(自殺予防,犯罪被害者,性教育等)

早期発見

- ・アンケートの活用
- ・学校組織での判断
- ・Wサポートプラン
- ・保護者との連携
- ・教育相談の充実

各種研修の充実

- ・いじめ発生時対応演習(事例研修)
- ・法教育授業(弁護士による授業)
- ・SOSの出し方教育
- ・学校人権教育研修会
- ・STARアセスメントの活用
- ・心のスキルアップトレーニング

思いを共有・広げる場

- ・家庭教育学級
- ・各種指導者等への研修
- ・PTA総会・研修等
- ・「広報ぎふ」

傍観者から準当事者へ

- ・被害者の思いや考えを想像
- ・見て見ぬふりをしない自分
- ・できることから行動
- ・その一歩が仲間の心の支え

日常的な取組

- ・子どもの声を聴き人間関係の構築
- ・些細な変容への気付き
- ・具体的な姿・行動・背景の価値付け

SOSの発信を促進

いじめの克服に向けた組織等

- ・人権啓発センター
- ・子ども・若者総合支援センター
- ・自治会連合会
- ・PTA連合会

いじめの克服に向けた施策等

- ・いじめ問題対策委員会
- ・いじめ問題対策連絡協議会
- ・いじめ対策監支援本部会議・研修会
- ・学校いじめ防止基本方針の更新と遵守
- ・総合教育会議等を通しての対策強化
- ・他市町教育委員会との連携



地域の方

今は家族、先生以外の大人と関わる機会が減っている。私たちは地域の方と話がしたい。どんどん話しましょう。

保護者

自分の力で乗り越えたい。困ったときは助けてほしいけど、それまでは信じて見守ってほしい。

子ども

自分の気持ちを伝え合うことができる仲間関係を築く。良さを認め合う場、自分の興味・関心を出表できる場の設定。

先生

私たちはいろんな先生に相談したいと思っている。相談した時には、じっくりと私たちの声に耳を傾けてほしい。

岐阜市  
生徒会  
サミット  
宣言